

体験活動普及啓発事業
シャワー★チャレンジキャンプ！
～自然のシャワーを浴びて仲間と一緒に Let's try!～

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家
〔期日〕 令和4年7月9日（土）～10日（日） 1泊2日
〔活動場所〕 国立諫早青少年自然の家
〔参加者〕 小学3・4年生 20名（男性12名、女性8名）
〔担当職員〕 貞方 貴衣、葛島 隆文、西田 尚由、稲原 諒馬

1) 事業の趣旨

季節に特化した自然体験活動を通して自然に親しむ心と自然体験活動への関心を高めるとともに、高い目標にチャレンジすることや友達と協力することの大切さに気付く。

2) 目標

- ①自分のことは自分でする。
- ②何事にもチャレンジする。
- ③相手のことを考えて行動する。

3) 研修プログラム

1日目	2日目
13:30 はじまりの会 保護者説明会	6:30 起床
14:00 アイスブレイク【写真①】 仲間づくりゲーム	7:50 朝食（レストラン）
15:10 Let's try! 野外ですき焼き作り 【写真②】	9:00 Let's try! 沢登り（深海川コース） 【写真③】【写真④】
19:00 一日の振り返り	12:30 着替え 昼食（弁当）
20:00 入浴、就寝準備	13:50 振り返り・発表準備・保護者説明会
21:45 就寝	14:30 発表会 終わりの会
	15:00 解散

4) 事業展開



① アイスブレイク



② すき焼き作り



③ 沢登り



④ 沢登り

5) 評価

① アンケート結果（事業全体に対する満足度）

満足	やや満足	やや不満	不満
95%	5%	0%	0%

② 参加者の声

- ・助け合いが大事なことがわかった。
- ・友達ができて良かった。
- ・チャレンジや仲間作りが大切だと気付いた。
- ・みんなで協力して楽しくキャンプに参加できた。

6) 成果と課題

① 成果

- ・目標を常に意識して活動に取り組むことで、振り返りや発表までやり遂げることができた。
- ・1泊2日の短い期間の中でも、だんだんとグループで協力して活動に取り組む様子が見られた。
- ・保護者の方にも別の部屋に集まっていただき、体験活動の重要性について講義を実施し、意識付けを行うことができた。

② 課題

- ・沢登りの活動において、大きな怪我は発生しなかったが、体の支え方等でヒヤリハットと思える場面があったので、子どもたちの安全を確保するためには職員、ボランティアともに更なる研修が必要である。
- ・振り返りの時間が長引き、解散時間が遅くなってしまったため、子どもたちの状況に合わせて、タイムマネジメントを徹底する必要がある。